

月刊「ワークホームだより」8月号

発行:2025年 7月 24日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com

第1回 地域連携推進会議開催について

ワークホーム高砂施設長 長谷川 博信

先日、亀山管理者のもと、法人はじめての地域連携推進会議を開催いたしました。対象は共同生活援助(グループホーム)で、高砂市の職員からは「市で最も早く開催された会議」とのことでした。

地域連携推進会議は、本年度(R7)から開催が義務づけられましたが、① 利用者との関係づくり、② 地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進、③ 施設等や利用者に関する理解の促進、③施設等やサービスの透明性・質の確保、④ 利用者の人権擁護を目的に、利用者、家族、地域の関係者、市の担当者などを構成員とした会議と施設訪問から成ります。

制度の背景には、グループグループホーム等を運営する株式会社「恵」の食材料費の過大徴収について、組織的な関与が認められたこと。所謂、経済的虐待の連座性が大きく取り上げられたことや、グループホーム等居住型の事業所での虐待件数が多かったことがあげられます。厚労省の元専門官は「透明性を高めること」が最も大きな課題と言っています。

一方、グループホームを管理・監視のみの視点で捉えるのはどうかという疑問はあります。会議のなかでは、ご家族や地域の方から温かい言葉をいただき、利用者からも「楽しい」との声がありました。こうやって地域のいろんな方が話し合いをすることこそが本来の目的であってほしいと思います。

知的障害者のグループホームは、1989年に制度化され、日本におけるノーマリゼーションへの意識の高まりから、各地に設置されるようになりました。ノーマリゼーションとは、高齢者や障がい者などを排除するのではなく、健常者と同等に当たり前に生活できるような社会こそが、正常(ノーマル)な社会であるという考え方です。人はどのような状態であっても、地域の中で人の役に立ちたい、社会の中で役割をもって生きていきたいと願うものです。

社会福祉法人あかりの家での初のグループホームは2002年に開設されました。このグループホームは、前身が「からしだねの木共同体『希望山荘日笠』生活ホーム」として法人設立者の一人が1992年に設立し、後にあかりの家に引き継いだものです。

この「からしだね」という団体名は、聖書のマタイによる福音書に登場する「からし種」のたとえに由来するもので、小さな種でも成長して大きな木になることから、成長して大きなことを成し遂げる可能性を秘めた『希望』を象徴しています。

はじめての地域連携推進会議に際し、懸命に準備をいたしましたが、至らぬことも多かったかと思います。それでも皆様の参画のもと、小さな「からし種」が、たくましく大きく成長していくように、今日のはじまりが、地域との繋がりと広がり「種」となればと願います。

8月の予定

8月2日(土) 健康診断

8月13日(水) 工賃支給日

8月16日(土) 保護者役員会

8月30日(土) 納涼祭

詳細は別途お知らせいたします。

がんばれ泉さん!

7月から泉百花さんが一般就労へとステップアップされました。いつもニコニコしておりみんなの人気者でした。ワークホームではいろいろな作業に取り組まれ、活躍してくださいました。新しい環境でもさらなるご活躍を応援しています。(新山)

退職挨拶

7月末で退職することになりました花岡です。コロナがまだ収束していない時にワークホームに来た為、保護者の皆様は誰か分からないかもしれません(笑)。約4年間ワークホームでお世話になりました。初めてのワークホームでの夏場の作業は、想像以上に過酷でした。その中でも一生懸命に作業をしている利用者さん達を見て、負けていけないという気持ちになったことを今でも覚えています。利用者さんたちのおかげで楽しく仕事をすることができました。どこかで会うことがあれば、声をかけていただけたら嬉しいです。4年間ありがとうございました。(花岡)

今月の担当は、新山でした。



スイートコーン収穫体験

6月30日から7月3日の間で作業の合間を縫って前橋さんの畑にお邪魔してスイートコーン収穫体験をさせていただきました。とても甘くおいしいスイートコーンを前橋さんのご厚意で一人2本持ち帰らせていただきました。暑い中でしたが貴重な体験になりました 🌽
(重田)



法人新人研修会

6月24日に法人新人研修会が行われました。2回中の1回が終わり、第1回の研修内容では「発達障害の理解」と「法人事業紹介・制度」についての講義を受けました。

まず、クローバーの和田センター長による「発達障害の理解」についての講義では、自閉症についてどういった障害なのか細かな名称から分類、特性や特徴などのことを学ばせていただきました。自分はこういった知識は全くなかったため新鮮で、初めて知ることしかありませんでした。

次に、あかりの家の福原支援部長による「法人事業紹介・制度」については、どこにどういった給付サービスがあるのかや、給付費などにまつわることを学ばせていただきました。これから働く上で知っておかないといけないことだなと感じました。

今までは現場でしか知りえなかった利用者さんの特徴をしっかりと知識として学ぶことができ、今後の自分の支援の弾みになると感じました。これからの支援に尽力できるように頑張りたいと思います。
(吉永)

法人研修会

2025(R7)年度 法人研修会-ハラスメント・虐待防止・BCP(自然災害)・感染症対策-が7月12日(土)生石研修センターで行われました。

BCP研修では、講師の高砂市総務部危機管理室 防災担当主幹 田中善朗氏よりハザードマップの活用方法、災害時に気をつけておくことを具体的に分かりやすく講義していただきました。また、虐待防止研修では「各事業所のR7年度虐待防止におけるテーマと取り組み計画について」の発表があり、感染症対策研修では「感染予防や対応方法」などを、法人内の看護師が講義しました。

今回の研修で得た学びを現場で活用するとともに、法人全体での知識の共有や意識の統一を図ることで、よりよい支援へと繋げていきたいです。
(山本)

東はりま特別支援学校 PTA 事業所見学会

東はりま特別支援学校のPTA研修部の事業所見学会が6月24日(火)にワークホーム高砂で開催されました。当日は30名近い保護者の方がご参加下さいました。小等部・中等部の保護者さんが中心という事で、今後の事業所選びについてお話させていただきました。色々な障害福祉サービス、障害者雇用等の働く場が以前より格段に増えている今日、できる限り色々な事業所等を見学、体験し選択肢を増やすことが大切です。また、ご本人のできない事を探すより、できる事を探すことをやってみてくださいと伝えています。こうして外部の方が来られることはワークホーム高砂にとっても良い事なので、今後も積極的に受け入れていきたいと思っています。
(楠)

アクエリアス・塩タブレットの提供を開始しました！

熱中症対策として、6月中旬頃から15時の休憩時に1人1本アクエリアスを提供しています。また、今年から1日2回作業前と昼食時に塩タブレットの提供を開始しました。作業場はかなり暑くなっていますが、こまめに水分補給を行っています。まだまだ暑い時期は続きますが、熱中症に気を付けながらワークホーム一同頑張っていきます。ご家庭でも熱中症対策へのご協力よろしくお願いします。
(新山)

